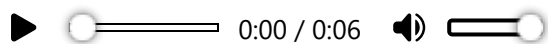


03 名詞の性と格 定冠詞・不定冠詞

【要点】

- 名詞は、単数形で、男性名詞、女性名詞、中性名詞を区別します。
- 名詞は、文の中での役割から、主語になるか目的語になるかします。この役割を「格」といいます。
- 主語になる格は「主格」、目的語になる格は「目的格」です。
- 男性名詞、女性名詞、中性名詞の前で使われる定冠詞は、それぞれ、



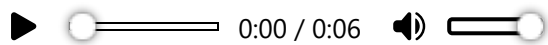
デア ディ ダス

der, die, dasです。

デア ディ ダス

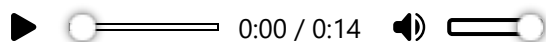
- der, die, dasは、それぞれ名詞が主語であることを表す主格の定冠詞です。

- 名詞が目的語であることを表す目的格の定冠詞は、



デン ディ ダス

den, die, dasです。



定冠詞の格

格	男性名詞	女性名詞	中性名詞
主格	デア ファーター <u>der</u> Vater 父親 <u>は</u>	ディ ムッター <u>die</u> Mutter 母親 <u>は</u>	ダ スキント <u>das</u> Kind 子供 <u>は</u>
目的格	デン ファーター <u>den</u> Vater 父親 <u>を</u>	ディ ムッター <u>die</u> Mutter 母親 <u>を</u>	ダ スキント <u>das</u> Kind 子供 <u>を</u>

■男性名詞の定冠詞だけ、主格と目的格とで綴りが異なります。

【解説】

■英語では、「男性」「女性」を指す名詞を「男性名詞」「女性名詞」と呼ぶことがあります。

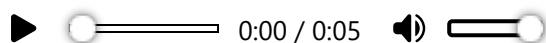
例：

waiter：男性の給仕人を指すので「男性名詞」、waitress：女性の給仕人を指すので「女性名詞」

■ドイツ語はこれとは違います。名詞そのものに「男性名詞」「女性名詞」「中性名詞」を区別するのです。

■ただし、「男性」「女性」を指す名詞は、それに従って、「男性名詞」「女性名詞」と見なします。

例：



ブルーダー

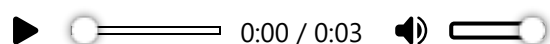
der Bruder: 「兄または弟」を指すので「男性名詞」。**die**

シュヴェスター

Schwester: 「姉または妹」を指すので「女性名詞」です。

■上記のような名詞以外は、その指示対象からは性は分かりません。

例：

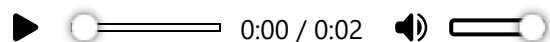


ファミリーエ

die Familie: 指示対象「家族」は性がありません。しかし、名詞そのものは「女性名詞」です。

【重要】名詞は必ず主格の定冠詞と一緒に覚えましょう！

例：



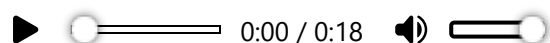
ティッシュ

デア ティッシュ

Tisch: 机 × 単独で覚えてはいけません。 / **der Tisch:** 机
○ 主格の定冠詞つきで覚えます。

■定冠詞を習ったので不定冠詞も覚えましょう。それぞれ主格と目的格の2つずつです。

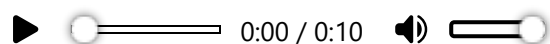
■男性の主格、中性の主格・目的格には語尾はつきません。それ以外は定冠詞の語尾を真似ています。



不定冠詞の格

性	主格	目的格
男性	<small>アイン</small> <u>ein</u> Vater	<small>アイネン</small> <u>einen</u> Vater
女性	<small>アイネ</small> <u>eine</u> Mutter	<small>アイネ</small> <u>eine</u> Mutter
中性	<small>アイン</small> <u>ein</u> Kind	<small>アイン</small> <u>ein</u> Kind

例：



**ein Buch 1冊の本、eine Kirche 1つの教会、ein Computer
1台のコンピュータ**

*** 和訳するときは、しばしば「1冊、1つの、1台の」の部分
を省略します。**